

令和7年度 苫小牧市学校教育推進の重点

小中学校の9年間の確かな成長を目指して ～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

重点1 資質・能力の向上

- 自己選択・自己決定による学びの創造と深化を通して、資質・能力を高める教育活動の工夫改善
- 資質・能力を活用し、さらに伸ばすための各学校の組織的・系統的な取組及び学校間の連携強化
 - 共通取組場面の適切な位置付けによる個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実（学）
 - 学びの目的に応じたICT活用力の育成を図る系統的な学習活動の推進（学）
 - コミュニケーション活動を重視した外国語授業の創意工夫と改善（学）
 - 思考・活動場面の調和がとれた体育授業の充実（学）

重点2 豊かな心の育成

- 教育活動全体を通じた組織的・計画的な道德教育の推進
- 全ての教育活動を通じて取り組むいじめ防止に向けた取組の促進
 - 道德教育の要たる道德科の授業の質的向上（学）
 - よりよい生き方を多面的・多角的に考え、「生」に対する希望と敬いを育む「こころの授業」の充実（学）
 - 多様性の尊重や価値観の異なる他者との共生の実現に向けた人権教育や性教育の充実（学）
 - 「いじめ見逃しゼロ」の徹底と、いじめ根絶に向けた児童生徒の主体的な取組の充実（学）
 - 心理的安全性の高い学校・学級風土の醸成（学）

重点3 特別支援教育の充実

- 連続性のある多様な学びの場の整備と学校間等の連携強化
- 共生社会実現に向けたインクルーシブ教育の充実
 - 切れ目のない一貫した指導や支援の充実（教・学）
 - 児童生徒の発達や障がいに応じて、個に適した学びの保障に向けた包括的支援体制の強化（教・学）
 - 自立と共生を育む交流及び共同学習の充実（学）
 - ICT活用による困り感の解消と学習効果の向上（学）
 - 管理職を含むすべての教員の特別支援教育に関する専門性の向上（教・学）

重点4 自立を促す基本的習慣の確立

- 学校、家庭、地域との連携・協働による生活・学習習慣の確立と不登校対策の推進
 - 児童生徒の発達段階に応じた適切なスクリーンタイムの習慣化を図る取組の創意工夫（教・学）
 - 全小・中学校への校内教育支援センターの設置（教・学）
 - SSWや教育支援センター、フリースクール等との連携によるきめ細やかな相談・支援体制強化（教・学）
 - オンライン授業など個に応じた学習機会の確保（学）

重点5 学校と地域の連携・協働の推進

- 幼小、中高を含む学校段階間の連携・接続の推進
- 社会との連携・協働による教育活動の構築
 - エリアで目指す15歳の姿を具現化するための学びの連続性と系統性を重視した教育活動の充実（学）
 - 子どもたちが夢と期待感をもって進学するための体験・交流活動、スタートカリキュラムの充実（教・学）
 - 関係機関・地域人材等との連携による学習活動の充実（夢実現教育、ふるさと教育、国際交流等）（教・学）
 - コミュニティ・スクールの推進状況の交流・改善（教・学）

重点6 質の高い教職員集団の形成

- 専門性と強みを発揮できる教職員の育成
- 不祥事根絶に向けた意識の醸成
 - 指導観を転換し、授業力の向上を図る実践的研修の充実（教・学）
 - 授業や校務におけるICTの効果的活用を通じた業務の質の向上と効率化の促進（学）
 - 部活動の地域展開に向けた段階的推進（教・学）
 - 教職員事故の防止・服務規律の徹底に向けたコンプライアンス研修の充実（教・学）

学校における
重点達成への鍵

【見通す】

目指す子ども像の具現化
に向けた取組及びゴール
イメージの共有化を図る

【決定する】

職場の心理的安全性を
保ち、自走する教職員
集団を形成する

【協働する】

強固な信頼関係を基盤と
した学校・家庭・地域の
役割連携を強化する

【振り返る】

エビデンスをもとに短期的な成
果検証を行い、精選・徹底・継
続により組織的改善を図る